

Technical Information	
文書番号	SYMC-SMS-080701-2
タイトル	Symantec Mail Security Version 7.6.1-14 リリースノート
対象機器	Symantec Mail Security 8200/8300 Series
ソフトウェアバージョン	7.6.1-14
プラットフォーム	-
日付	2008/7/1
参照	-
問合せ先	日商エレクトロニクス株式会社 エンタープライズ事業本部 テクノロジーソリューション統括部 セキュリティ&ネットワークグループ E-mail: symc-support@nissho-ele.co.jp

### 本書について

Symantec Mail Security 8200/8300 Series(以下 SMS) Version 7.6.1-14 に関する情報が含まれています。

## 本リリースについて

SMS Version 7.6.1-14 は、Version 7.6.0-6 のパッチアップデートです。

## リソース

詳細な情報は以下より入手可能です。

<メーカー マニュアル(日本語)>

<http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/enterprise/sms/8300/manuals.html>

<メーカー リリースノート(日本語)>

[ftp://ftp.symantec.com/public/japanese/products/symantec\\_mail\\_security/8300/manuals/sms\\_release\\_notes\\_7.6.pdf](ftp://ftp.symantec.com/public/japanese/products/symantec_mail_security/8300/manuals/sms_release_notes_7.6.pdf)

<メーカー SMS 8200 Series ナレッジベース(英語)>

[http://www.symantec.com/business/support/knowledge\\_base\\_sli.jsp?pid=51975](http://www.symantec.com/business/support/knowledge_base_sli.jsp?pid=51975)

<メーカー SMS 8300 Series ナレッジベース(英語)>

[http://www.symantec.com/business/support/knowledge\\_base\\_sli.jsp?pid=53991](http://www.symantec.com/business/support/knowledge_base_sli.jsp?pid=53991)

## 新機能

Version 7.6 の主な新機能 (Version 7.5 と比較) は以下となります。

- ・ レポート機能の強化
  - レポートの表示内容が変わります。
- ・ 強化された IP 評価レピュテーションモジュール
  - IP 評価モジュールが DNS によるルックアップ機能追加により新しくなりました。
- ・ Dynamic LDAP による同期
  - 現行の同期機能では LDAP サーバの情報を SMS に取り込んでいましたが、V7.6 からはメールを受信する度に LDAP サーバへクエリーで確認する機能が、新たに追加されました。  
これにより LDAP サーバの情報が更新された場合でもリアルタイムに新しい LDAP サーバの情報を確認する事が出来るようになりました。
- ・ 通知機能の向上
  - 通知テンプレート作成時に送信者、受信者、件名、添付ファイル名を通知出来るようになりました。
- ・ バックアップの内容選択
  - バックアップ取得時にバックアップする内容を下記 3 種類から選択できるようになりました。
    1. 完全バックアップ (V7.5 までと同様)
    2. 設定とインシデントのみのバックアップ
    3. 設定、インシデント、ログ、レポートのみのバックアップ

## 変更された内容

Version 7.6 で変更された内容 (Version 7.5 と比較) は以下となります。

- ・ 「オーブンプロキシの送信者」が「ゾンビ」に名称変更されました。
- ・ GUI の配置変更
  - 「メッセージ監査ログ」と「メッセージキュー」が[プロトコル]から[状態]に移動しました。

## 追加/修正内容

- Version 7.6.1-14 の追加及び修正内容は以下となります。
  - ・ Syslog へログを送信した場合にファシリティ local7 のログが重複して出力される問題が修正されました。
  - ・ 警告条件のアウトブレイク検出が有効な場合にウィルスの分類が通知されるようになりました。
  - ・ 約 132 日以上連続稼動にて下記のアラートメールが送信される問題が修正されました。
    - この問題発生時には下記のアラートメールが送信されます
      - 件名: Cron <root@hostname> /opt/Symantec/Brightmail/cli/sbin/watchdog
      - 本文: Please give a smaller interval value
    - この問題発生時は CPU 使用率を誤検知します。
- Version 7.6.1-7 の追加及び修正内容は以下となります。
  - ・ V7.6.1-3 のみで発生するハードウェアの RAID array が誤って Fail と認識される問題が修正されました。
  - ・ V7.6 のオンラインヘルプが日本語化されました。

- Version 7.6.0-6 の追加及び修正内容は以下となります。
- ・ 警告通知で「不適切な終了後のサービス開始」の警告条件と異なった警告が通知される問題が修正されました。
- ・ アンチウイルスライセンスが無い場合に以下のエラーが記録される問題が修正されました。
  - 『Cannot perform JLU update: license check failed.』
    - ログレベルが「エラー」から「情報」に変更されました。
  - 『License check for service (antivirus\_content) failed.』
    - ログレベルに係わらず、上記ログが記録されなくなりました。
- ・ AntiVirus を使用し Filter-Hub プロセスが過去 720 時間の間に 5M 以上のメールを処理していない場合、新規に 5M 以上のメールを受信すると inbound-mta において 554 Transaction failed (in reply to end of DATAcommand)のログが記録され送信者からのメールを受信しない問題が修正されました。
- ・ 警告通知で「不適切な終了後のサービス開始」の警告条件と異なった警告が通知される問題が修正されました。

## 既知の問題/注意事項

現在、Version 7.6.1-14 で確認されている問題は以下となります。

ここに記載の内容以外の問題に関しましてはメーカーのリリースノートをご覧ください。

- 
- ・ レポートで表示される時刻が AM/PM の形式で表示されません。
- 
- ・ V7.6 へアップグレード直後はログイントップ画面(状態 > ダッシュボード)のカウン트가リセットされます。
- 
- ・ V5 より直接 V7.6 へアップグレードする場合に V7.6 へアップグレード後に電子メールファイアウォールの全ての設定が有効になります。  
アップグレード前に V5 にて ポリシー > 送信者グループ 内の有効/無効を確認頂き V7.5 へアップグレード後は スпам > 送信者グループ 内の有効/無効を V5 の設定内容と同一にして頂くようお願いします。  
V7.5 から V7.6 へアップグレードする場合は該当しません。
- 
- ・ 添付ドキュメント内のキーワードスキャンでフィルタハブが crash する可能性があります。  
[プロトコル]-[スキャンの設定]のコンテンツ制御設定を無効にすることを推奨します。

<参考:メーカー ナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-gate.nsf/docid/2006111014125463>

- 
- ・ SMS の Interface1、Interface2 の両方に同一のサブネットを設定すると Interface1 の MAC アドレスが返され Interface2 の MAC アドレスは返されません。
- 
- ・ SMS の IP アドレスを変更する場合は CLI の clear all にて初期化後に再設定が必要となります。
- 
- ・ V7.6 では CLI によるソフトウェアアップデートが実施出来ません。
- 
- ・ 高負荷時はメッセージ監査ログの「送信先」が記録されない場合があります。
- 
- ・ 証明書群及び中間証明書のインストールはサポートされていません。
- 
- ・ インスタントメッセージ機能はサポート対象外とさせて頂いております。
- 
- ・ 複数台構成において ScannerOnly の機能を使用して 1 台の ControlCenter で集中管理する構成を弊社が構築していない場合、保守サポートのご提供は致しかねますのでご了承の程お願い申し上げます。
    - 2007 年 10 月 10 日現在、既に上記構成で弊社と保守契約をご締結のお客様は引き続きサポートさせていただきます。
-



- 
- ・ ポリシー > 送信者グループの「ゾンビ」、「スパムの疑い」を有効。  
「SMTP 接続を拒否する」、「SMTP 接続を遅延する」を選択した場合、拒否や遅延以外の動作になる場合があります。
    - 動作説明経路:MTA1 MTA2 SMS の経路で SMS メールを送信した場合
      - MTA2のIPアドレスが「ゾンビ」、「スパムの疑い」と判定された場合は拒否、遅延の動作を行います。
      - MTA1のIPアドレスが「ゾンビ」、「スパムの疑い」と判定された場合はメールを一度受信している為に拒否、遅延の動作が出来ずに次の動作になります。
        - 拒否を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません。
        - 遅延を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません、また送信者に対して以下のバウンスメールを送信します。  
件名:Returned Mail  
本文:Your message could not be delivered for the following reasons.  
This message has been blocked.
  
  - ・ V5にて検疫ポートをデフォルト値(41025)から変更していた場合、V7.6へアップグレードすると検疫領域にメールを隔離しません。
    - アップグレード後、下記方法により対処します。
      - 管理 > コントロールセンター > リスナーポート を「41025」に変更し保存。
      - 管理 > コントロールセンター > リスナーポート を元のポートに変更し保存。
- 
- 本体再起動

## アップグレードについて

### ➤ V7 からのアップデート方法

アップグレード後に自動で OS の再起動が行なわれます。

#### <アップグレード方法>

##### 1. コントロールセンター(GUI)よりアップデート

- 1-1. [管理] -> 左側の[バージョン] -> [更新]をクリックする。
- 1-2. 下に表示されている “7.6.1-14” を選択 -> [説明の表示] をクリックする。
- 1-3. 下に表示されている “7.6.1-14” を選択 -> [更新] をクリックする。

#### <アップグレードの注意事項>

- ・ アップデート前にバックアップを作成してください。
- ・ アップデート前に検疫内のメールをすべて削除することを推奨します。バックアップファイルの作成時間、アップグレード後の DB マイグレーション時間を短縮できます。
- ・ アップデート前にメールの受信をしないようにして各キューを解除(Flush)することを推奨します。
  - [管理] -> [設定] -> スキャナのホストをクリックする。
  - 「着信メッセージを受け入れない」を選択して保存をする。
  - アップグレード後は「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択して保存をしてください。
- ・ 更新開始から完了まで、再ブートやシャットダウンを実行しないでください。

➤ V5 からのアップデート方法

Software Updates(ソフトウェアの更新)にて入手/適用可能です。

別紙、アップグレード手順(SYMC-SMS-071010-1)及びメーカーのナレッジベースを参照ください。

V5 より V7.6 へアップデートする場合は V7.5 を経由する必要はありません。

<参考: アップグレード手順(SYMC-SMS-071010-1)>

<http://www.nissho-ele.co.jp/product/symantec/news/v75up.pdf>

### ダウングレードについて

CD リストア以外にございません。

<参考: メーカー ナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-gate.nsf/docid/2005040414130363>

### 改訂履歴

2008/7/1	初版
2008/7/3	第二版
2008/8/22	第三版

以上